

2025年度政策・職域推進事業部執行計画

【政策・職域推進事業部】

■あるべき姿(方向性)

職域横断的な同職種間連携の強化を通して、地域(国)の優先的な健康・栄養課題を共有し、課題解決に向けた効果的な政策提言と実効性のある栄養改善活動の展開、及び人材の育成・発掘により、職域活動の更なる活性化を図る。

■基本方針

No	基本方針	内容
1	各職域における活動を共有し、公益活動の活性化を推進する。	① 各職域事業推進委員会における重点取組内容の共有、公益活動の活性化に向けた戦略の検討 ② 全職域において、①にかかる情報提供の実施(全国リーダー研修会等)
2	各職域における政策課題の明確化を図り、事業及び調査・研究のバックアップ体制を図る。	① 各職域のあるべき姿(方向性)と政策課題及び具体的な政策活動の明確化(政策活動に必要な指標の設定) ② 政策課題を解決するためのエビデンス収集に向けての事業、調査・研究の推進
3	各職域における人材育成の方向性を検討し、効果的・効率的な人材育成に向けての体制整備を図る。	① 各職域における専門管理栄養士、認定管理栄養士・栄養士、その他の人材育成にかかる目標の検討 ② 各職域の人材育成に向け、PDCAサイクルに基づく研修会の企画(全国リーダー研修等) ③ 職域横断的な研修会の企画
4	各職域における会員増対策の目標を設定し、戦略的活動を展開する。	① 各職域における会員増の目標値の設定 ② 目標達成に向けた戦略的活動方法の検討と実践(非会員の掘り起こし、学生に向けての出口戦略の検討、就業先での入会促進など)

■事業内容

No	事業名	内容(わらい)	実施日	参加者数	目標数
1-1	政策・職域推進事業部会	政策・職域推進事業部の活動を計画・実施・評価するための事業部会を年4回、Web会議にて実施する。	年4回	-	9名
1-2	拡大政策・職域推進事業部会	事業部担当理事及び各職域の副委員長にて年2回実施。政策課題への対応策及び会員増対策等を検討する。	年2回	-	22名
1-3	理事勉強会	部会運営を円滑にかつ他職域との連携強化を図るため、各職域担当理事を中心に政策に関する勉強会(職域ごとにテーマ設定)を開催し、各職域の情報共有を図る。	年6回	-	100名
2	政策・職域推進事業部全体会議	全職域の事業推進委員の連携の推進、及び次期人材育成に向け日本栄養士会(日本の栄養施策)の課題・問題を共有し、グループディスカッションにより解決の糸口を探る。	1回	-	80名
3	職域全国リーダー育成のための研修会(派遣)	各職域の全国リーダー研修会に、政策・職域推進事業部長あるいは副部長を派遣し、各職域の事業および活動内容の把握及び意見交換を実施する。	各職域開催日に派遣	-	-

【医療】

■あるべき姿(方向性)

病院・医療関連機関に従事する管理栄養士・栄養士の資質の向上を図り、もってわが国の医療及び国民保健の向上に寄与する。

■基本方針

No	基本方針	内容(ねらい)
1	適切な栄養療法を通じて患者の早期回復、疾病の重症化予防に取り組む	1) 病棟への管理栄養士の適正な配置を目指す 2) 医師看護師負担軽減と充実を図るためにチーム医療を推進する 3) 入退院支援部門への管理栄養士の配置 4) 外来化学療法室への管理栄養士の配置 5) 外来栄養食事指導専属の管理栄養士の配置 6) 後方施設(他施設・介護施設等)との連携、情報提供、フードサービスの強化
2	医療を取り巻く社会構造の変化に対応し、適切な栄養療法を実践する	1) 地域包括ケアシステムの推進 2) 地域連携担当の管理栄養士の配置 3) 医療施設を経営主体とした栄養ケア・ステーション設置の勧奨
3	栄養療法に関する知識と技術を有する人材の育成を行う	1) 専門管理栄養士のさらなる推進 2) 栄養部門の教育・研修を担当する管理栄養士の育成、卒前卒後教育の充実

■事業内容

No	事業名	内容(ねらい)	実施日	参加者数	目標数
1	医療職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	1) 2024年度事業報告(政策課題報告含む)及び2025年度事業計画案 2) 医療施設と福祉施設における同職種間連携推進セミナーの各都道府県での実施について	2025.4.19(土) Web		47名
2	食事療法学会	臨床栄養に関する栄養管理・給食管理関連のマネジメントについて研鑽するとともに、診療報酬改定等の理解を深め、資質の向上を図る。また解決の場として、学会発表の機会を提供する。	2026.3(調整中)		1,500名
3	臨床栄養学術セミナー	臨床に関わる管理栄養士・栄養士にとって有益な最新の臨床情報提供の場として開催。栄養管理や栄養指導の資質向上を目的に実施する。 テーマ:調整中	(調整中)		800名
4	スキルアップセミナー	全国栄養士大会の講演において、栄養管理を行ううえでの実践的知識・技術を身につけることを目的に実施する。 テーマ:調整中	2025.10(予定)		2,000 再生/本
5	コンサルテーションサロン	栄養関連の診療報酬の実績増やそれに基づく増収・増員などを旨とする テーマ:調整中	(調整中)		50名
6	コンサルテーションサロン(ニューカマーミーティング)	新入会会員を対象に、日栄の活動方針の共有・仲間づくりの場を提供し、帰属意識を高める。	(調整中)		40名
7	全国病院栄養部門実態調査	病院栄養部門の実態を把握することを目的に調査を実施する	2025.6(予定)		回収率 50%
8	診療報酬を1から学ぶ研修会	入職～3年目までの病院管理栄養士・栄養士を対象に、診療報酬を十分に理解し、管理栄養士・栄養士の仕事の実績を見える化するを目的とする。	2025.4-2026.2		500名
9	広報活動	診療報酬に係る資料の作成及びホームページへの掲載	-	-	-
10	常任事業推進委員会	事業推進委員会企画運営及び診療報酬改定等の戦略的事業計画	年10回	-	-
11	事業推進委員会他	日常活動における組織強化充実と政策課題解決に向けた取り組み	年4回	-	-

【学校健康教育】

■あるべき姿(方向性)

児童生徒の生涯にわたる健康、命、幸せに貢献できる栄養教諭

■基本方針

No	基本方針	内容
1	栄養教諭配置1校1人を実現	①栄養教諭を必置義務の職員にするための配置法を改正するためのエビデンスを作成する。 ②栄養教諭・学校栄養職員の配置等の状況の、都道府県・市町村の格差を無くすために各都道府県リーダーと協働。 ③食に関する指導を実施したくても職場環境の要因で実施できていない人が80%を減らすために、職場環境の現状を把握しエビデンスを作成し、栄養教諭の標準的職務ができる環境にする。 ④栄養教諭を多くすると良いこと、例えば個別的な相談指導実践事例などを作成周知する。
2	栄養教諭が学校現場におり、適時に直接相談・指導することにより子ども達が健康になり、栄養教諭が生涯の健康づくりに必須となる	①人材育成事業部と協働をして、特定分野における実践活動により優れた成果を生むことができると同時に、自ら必要とするスキルを認識し、常にその資質向上に向けた研鑽を行うことができると、日本栄養士会が認める特定分野管理栄養士・栄養士を増やす。
3	学校における栄養教諭(管理栄養士・栄養士)が、児童生徒に寄り添える時間と人的配置等のシステムで、給食管理と食に関する指導を一体的に行う。	①学校健康教育職域が栄養教諭に業務を効率化するためのツールを提供する。 ②栄養教諭の活動を実践事例としてとりまとめエビデンスとなるように構築する。

■事業内容

No	事業名	内容(ねらい)	実施日	参加者数	目標数
1	学校健康教育職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	日本栄養士会の活動や現在の課題に関する情報と解決方法を各都道府県代表者と共有・協働し、各地域で実践を行っていくことによって、学校における管理栄養士・栄養士がより良く児童生徒の生涯にわたる健康づくり実現に貢献するためのシステムを構築する。	2026.1.18(日) 予定		47
2	全国研修会	栄養教諭・学校栄養職員として児童生徒の行動変容を促し、生涯にわたる健康づくりに貢献することを目指し、今後の食育の推進、学校給食の発展および国民の栄養・健康に資するために本研修会を開催し、専門性を研鑽する。	2026.2.8(日) 予定		300
3	事業推進委員会	栄養・食事指導の専門性を生かして、児童生徒の生涯にわたる健康づくり実現に貢献できるように、学校における管理栄養士・栄養士のための事業を推進することを目標に、各事業の企画及び運営について協議していくために年1回集合型、年3回WEB会議の推進委員会を実施する。	2025.6月 予定 (Web) 7月 予定 (Web) 9月 予定 (Web) 2026.2月 予定 (集合型)		9名×4回
4	調査研究事業・事例収集	栄養教諭の活動を実践事例としてとりまとめエビデンスとなるように構築する。	年間		HPの事例を300名が閲覧
5	VCS(バーチャルコミュニティスペース)	ブロック(地区別)の連携強化・情報共有と解決へと導く。	1回(2025.5月～7月 予定)		7ブロック1回ずつ

【職域事業外】

6	「個別的な相談指導」等研修会(各都道府県栄養士会主催に向けて)	「個別的な相談指導」等の標準化を目指し、研修会を全国展開できるように進めていく。	年間		47カ所
7	人材育成事業部生涯教育実務研修会	学校における管理栄養士・栄養士がより良く児童生徒の生涯にわたる健康づくり実現に貢献する。	年間		各100

【研究教育】

■あるべき姿(方向性)

栄養関連分野におけるエビデンスの作成・発信に寄与するとともに、将来の栄養関連分野を担う人材を育成する。

■基本方針

No	基本方針	内容
1	管理栄養士・栄養士養成カリキュラムの充実	1) 臨地・校外実習の実際の改訂の検討 2) 教育現場のIoT利用に関する展望や課題等抽出 3) Society5.0社会を見据えた専門職(養成)教育システムの基盤整備 (「臨地実習及び校外実習の実際」の見直しに関する事業における事例収集を通じた検討)
2	基礎研究・応用研究・政策研究等の戦略的推進	1) 研究環境等に関する各職域との情報交換・連携 2) 栄養関連分野に関連する研究論文や学会発表等の増加 (全国研修会で関連するプログラムを企画する)
3	卒後教育とのつながりの強化	1) 若手会員の増加 卒後3年以内の会員増を他職域及び都道府県栄養士会と協力して推進する 2) 職域内の会員増 3) 他職域会員の研究支援 (リーダー研修会を通じて課題点を抽出し、必要な事業を考案する)

■事業内容

No	事業名	内容(ねらい)	実施日	参加者数	目標数
1	「臨地実習及び校外実習の実際」の見直しに関する事業	1) 臨地実習・校外実習の事例集の作成	年2回	—	—
2	研究教育職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会	1) 2025年度事業報告及び2026年度事業計画案 → 都道府県代表者への事業内容の浸透及び連携強化	2026.2.14(土) 予定		47名
3	事業推進委員会	日常活動における組織強化充実と政策課題解決に向けた取り組み	2025.6.26(木) 予定 9.13(土) 予定 11.20(木) 予定 2026.1.29(木) 予定 2.14(土) 集合予定		5回
4	研究教育職域全国研修会	栄養士制度に関わる事項ならびに、教育・研究に関わる事項について学び、理解・認識を共通化する取り組み	検討中		250名

【公衆衛生】

■あるべき姿(方向性)

国民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小に向けた成果の見える栄養政策の推進

■基本方針

No	基本方針	内容
1	健康日本21(第三次)を踏まえた栄養政策の推進と、健康な栄養・食生活の推進に向けたエビデンスの強化	①健康日本21(第三次)を踏まえた、成果の見える栄養政策の推進方策の検討 地域の健康・栄養課題の明確化とPDCAサイクルに基づく施策の企画立案、実施、評価 ②自然に健康になれる持続可能な食環境づくりに向け、自治体支援ツール等を活用した食環境づくりの取組実態把握(R7:事例収集) ③SNS等を活用した健康無(低)関心層への啓発方法検討(R7:事例収集)
2	地域包括ケアシステムの更なる推進に向けた栄養・食支援体制の確立(栄養CS設置拡大含む)	①医療－介護－地域一体での同職種間連携と多職種連携強化 ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の更なる推進(栄養CSとの連携) ③自治体栄養士配置促進要望活動の展開 ④栄養CS設置拡大と地域格差の是正
3	誰もが住民や同職種・他職種から信頼を得られる能力を有する人材育成と人材確保	【政策課題】自治体における栄養政策を適切に推進するための体制整備 ①人材育成ガイド、人材育成プログラムに基づく現任教育の拡充 ②自治体栄養士配置促進要望活動の展開(定員増と適正配置(多分野、多領域へ配置)) ③会員数の増加と都道府県加入率の差の縮小

■事業内容

No	事業名	内容(ねらい)	実施日	参加者数	目標数
1	公衆衛生職域行政栄養士育成のための全国リーダー研修会	・都道府県栄養士会公衆衛生職域代表者対象 ・県単での指導的役割が担えるようテーマ設定 ・2025年「自治体における栄養施策を適切に推進するための体制整備(人材育成と人材確保)」	2025.4.20(日)予定・WEB		47名
2	公衆衛生実務研修会	・行政栄養士対象、専門知識・技能向上が目的 ・講演2演題、事例発表2事例、グループワーク等 ・テーマ「健康日本21(第三次)」「人材育成」他	2026.2月 WEB		250名
3	公衆衛生新任者研修	・行政栄養士勤務年数5年対象 ・基礎能力の獲得と仲間づくりが目的 ・講演2演題「厚労省栄養技官、中村会長」、事例発表2事例、グループワーク等	2026.1月 WEB		150名
4	事業推進委員会	職域のあるべき姿の達成と政策課題の解決に向け、PDCAサイクルを踏まえた事業企画、実施、評価等	2025.4.5(土) WEB、7月集合、12月WEB		3回
5	公衆衛生事業活動事例集制作事業	・先駆的な実践活動のプロセスと成果を収集 ・1都道府県栄養士会あたり2事例提出依頼 ・事例集を作成し、ホームページ等で発信 ・優良事例は、雑誌、研修事例発表等へつなぐ	年間		47
6	自治体行政栄養士配置促進要望活動	・自治体栄養士配置促進に向けた要望書の発出(2025.5月頃予定)	年間		47
7	自治体栄養士配置促進要望活動事業及び会員増対策(ブロック別VCS)の実施	・全国7ブロックごとにVCS開催 ・一体的実施、配置促進、人材育成、栄養CS連携、事業推進、会員増等について意見交換	各1回(2025.10～12月)		7回

【福祉】

■あるべき姿(方向性)

地域共生社会において、誰もが健康で豊かな生活を送ることができるように食を通じて支援する。

■基本方針

No	基本方針	内容
1	【高齢】重度化防止を図り、科学的に効果が裏付けられた質の高い丁寧な栄養ケアサービスを提供するため、栄養ケア・マネジメントの質の担保と標準化を推進する	①専門管理栄養士、認定管理栄養士の取得及び配置促進 ②同職種合同・スキルアップ研修会の実施 ③施設入所サービスにおけるエビデンスの構築(リハ・口腔との連携、看取り、認知症対応、情報連携など) ④通所系、居宅系サービスにおけるエビデンスの構築 ⑤機能強化型認定栄養ケア・ステーションの配置促進
2	【障害】障害(児)者分野における栄養マネジメント体制を確立し、質の高い栄養ケアサービスを提供するため、栄養ケア・マネジメントの標準化を推進する	①専門管理栄養士、認定管理栄養士の取得及び配置促進 ②同職種合同・スキルアップ研修会の実施 ③施設入所サービス(児・者)におけるエビデンスの構築 ④通所系、居宅系サービスにおける栄養ケアのエビデンス構築
3	【児童】保育所における管理栄養士による栄養ケアサービスの提供体制構築のため、管理栄養士による個別栄養ケアを実施する	①専門管理栄養士、認定管理栄養士の取得及び配置促進 ②同職種合同・スキルアップ研修会の実施

■事業内容

No	事業名	内容(わらい)	実施日	参加者数	目標数
1	福祉職管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会(WEB)	福祉の管理栄養士・栄養士活動を発展させるため、国民ニーズに関する課題に対応できる研修を行い、リーダーを育成する。	2025.8.3(日)予定、 2026.2.21(土)予定		各47名
2	高齢・Step00研修会(生涯教育実務研修)	栄養スクリーニング・アセスメント・計画書の書き方の講義と演習	年間		200名
3	高齢・Step0研修会(生涯教育実務研修)	経験年数1～3年対象 食事観察、多職種連携、LIFE入力などについて詳しく学ぶ	年間		200名
4	高齢・各種加算のとり方研修会(生涯教育実務研修)	各種栄養関連加算について学ぶ	年間		
5-1	【NEW】令和6年度介護報酬改定対応「新設加算のとり方」研修会(ライブ)	医療・介護・障害施設と地域(在宅)をつなぐシームレスな栄養管理、栄養食事指導体制の構築に向けた評価の充実を図る為、報酬改定の内容をいち早く習得し、実践する	6月		200名
5-2	【NEW】令和6年度介護報酬改定対応「リハビリテーション・個別機能訓練、栄養、口腔の一体的取組を学ぶ」研修会・オンデマンド配信	「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組」の調査研究データをもとに管理栄養士とリハビリ専門職及び口腔専門職が一体的に行う取組の意義や連携の仕方、期待される効果等を学び、実務に活かす	年間		500名
6	地域共生セミナー(ライブ)	地域共生社会における管理栄養士・栄養士の役割を理解し実践できる	10月		80名
7	障害・Step00研修会(生涯教育実務研修)	栄養スクリーニング・アセスメント・計画書の書き方の講義と演習	年間		200名
8	障害・Step0研修会(生涯教育実務研修)	栄養マネジメント加算／経口移行・経口維持加算／療養食加算	年間		200名
9	障害・スキルアップ研修会Step0(ライブ)	障害者特有の食行動や食関連課題に対する栄養介入方法について事例を用いて学ぶ	9月		80名
10	児童・Step00研修会(ライブ)	保育所における栄養ケア・マネジメントについて基礎から学ぶ	10月		80名
11	児童・スキルアップ研修会Step0「食物アレルギーについて学ぶ」(ライブ)	食物アレルギーの基礎知識と最新情報を学ぶ	11月		120名
12	児童・スキルアップ研修会Step0「食べる機能の発達や偏食の対応について学ぶ」(ライブ)	口腔機能の発達について学ぶ	12月		120名
13	事例集作成／高齢・障害・児童	高齢・障害・児童分野の事例を収集し活用する	-		47事例
14	事業推進委員会	各事業の推進のため企画および運営についての協議を行う。(年5回、Webうち1回集合)	2025.5.17(土)予定、 7.6(日)集合予定、9.13(土)予定、 11.15(土)予定、2026.1.17(土)予定		各11人
15	VCS(バーチャルコミュニティスペース)	リーダーへタイムリーな情報を提供するため・各ブロック連携強化(介護関連の研修会推進のための施策対応等含む)	年3回		7ブロック×3回
16	広報活動	介護報酬にかかわるホームページ掲載原稿等の資料作成および更新、問合せ対応	-		

【フリーランス・栄養関連企業等】

■あるべき姿(方向性)

誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて、自然に健康になれる食環境づくりを推進し、国民の健康保持増進、健康寿命の延伸に寄与する

■基本方針

No	基本方針	内容
1	自然に健康になれる食環境づくりのための連携体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に健康になれる食環境づくりには、フードシステムのあり方が重要である。当職域には、フードシステム(食物の生産、加工、流通、販売)に関わる多くの所属(フードサービス、食品・栄養関連、保険薬局・ドラッグストア、健康情報関連、矯正施設・自衛隊、自営・フリーランスなど)において活動していることから、各所属の活動を共有、理解、連携し、誰もが地域で健康な食事にアクセスできる食環境づくりを推進するための連携体制を構築する。 ・健康な食事へのアクセスに加え、人々の食物選択を後押しする役割をもつ情報のアクセスとを相互に関連させて推進する。
2	健康日本21(第三次)の課題解決に向けた無関心層へのアプローチのための人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・健康日本21(第三次)では、健康無関心層も含めた予防・健康づくりを推進している。この無関心層へのアプローチでは、ナッジなど新しい手法や実効性のあるポピュレーションアプローチが期待されている。また、栄養・食生活に関しては、特に「若い世代」に無関心層が多いことが重要課題となっている。このようなことから、他職域とは異なる当職域の特性を踏まえて、より多くの無関心層への取組みが実践できる管理栄養士・栄養士を育成する。
3	効果的な特定保健指導の実践とその成果の見える化	<p>2024年度からスタートした第4期特定健診・特定保健指導制度の最大のポイントは「成果を重視した特定保健指導の評価体系(アウトカム評価)が導入されたことにより、実施率の向上を目指す」ことである。当職域では、多くの管理栄養士が特定保健指導に従事していることから、効果的な特定保健指導の実践できる人材育成を推進するとともに、その成果(評価)の見える化について検討する。</p>
4	食品のリスクとリスクコミュニケーションの推進	<p>小林製薬の「紅麹」の健康被害を踏まえて、今後、健康被害を事前に防ぐためには、消費者の食品のリスクを含む健康食品に関する正しい情報提供など、リスクコミュニケーションの推進には、医師、薬剤師に加え管理栄養士・栄養士の役割も重要となっている。当職域においては、あらゆる消費者と直接関わる機会において、健康被害を防ぐための栄養教育を行うことが期待されている。そこで、消費者庁とも連携し、管理栄養士・栄養士が食品のリスクを正しく理解し、実践的な情報やリスクコミュニケーションに取り組む。</p>

■事業内容

No	事業名	内容(ねらい)	実施日	参加者数	目標数
1	事業推進委員会	フリーランス・栄養関連企業等職域の事業に関する企画・立案・運営・進行管理を行う。各領域の課題抽出と対策を検討・議論する場とする。	年5回	-	-
2	全国リーダー研修会	全国のフリーランス・栄養関連企業等事業部に所属する管理栄養士・栄養士が社会の中での健康維持・増進の仕組み作りへの認識を共有し、新たな価値を見だし、かつ各都道府県において展開していく。	(調整中)		47名
3	矯正栄養士研修会	矯正施設に関連する職員(管理栄養士・栄養士含む)へ健康維持増進に関わる研修を開催し、他職種間で食の重要性を認識する	(調整中)		80名
4	全国研修会	保健指導・経営力などの最新情報の知識を習得し、実践に活かせる研修とする	(調整中)		330名